医学博士課程入試の外国語（英語）について

※令和6（2024）年４月入学のための入試情報です。

東京大学大学院医学系研究科医学博士課程の全専攻の入試においては、「外国語（英語）」試験は実施せず、TOEFL の成績を利用して外国語審査を行います。

医学博士課程においては、医学・医科学の各分野における国際的なリーダーとして活躍できる能力と意欲のある人材を求めており、外国語（英語）を活用する力が重要となることは言うまでもありません。このため入学時における基礎的素養としては、TOEFL-iBT スコア 60 点を上回る英語力を期待しています。ただし、出願時に 60 点に達していなくても受験資格を失うことはありません。

医学博士課程へ出願する方は、以下要領で、TOEFL の成績証明書をご提出ください。

なお、備考にあるとおり、一定の要件を満たした場合、TOEFL 成績証明書の提出が免除される場合があります。免除希望者は、東京大学医学部学務チーム大学院担当あてメールにてお問い合わせください(in.m@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)。

1	試験の種類	TOEFL-iBT、TOEFL iBT® Home Edition のいずれかのスコアを受理します。
2	有効期限	TOEFL の成績は、**２０２１年１０月１日以降**に受検したものに限定します。
3	提出物① 「Test Taker Score Report」	ETS （Educational Testing Service）が本人に発行する「Test Taker Score Report」のコピー１部を出願書類に同封し、募集要項で定められている出願期間中に提出してください。また、それに対応する「Institutional Score Report」の発行を ETS へ請求した Web 画面を印刷したもの（請求日付が確認できるもの）も同封してください。
4	提出物② 「Institutional Score Report」	上記３「Test Taker Score Report」と同じ受検日の「Institutional Score Report」を、医学系研究科宛てに送付するよう、以下の情報を入力して ETS に請求してください 。 DI（Designated Institution）Code: 8426 Division: Graduate Organization Department: 42（Medicine） ※ 東京大学("9259")や他の研究科のコードで請求しても本研究科には届きませんのでご注意ください。 ※出願以前に請求が済んでいれば、Institutional Score Report の到着が出願締め切り後になったとしても受理します。これから TOEFL を受検する方はその受検時に請求してください。なお、TOEFL を複数回受検したことにより「Institutional Score Report」が複数枚研究科に届いた際は、上記３と同一のスコアを採用します。 詳細は TOEFL ホームページ（https://www.ets.org/jp/toefl/）で確認すること。
5	注意事項	以下の場合、TOEFL の成績は無効とみなして、外国語審査を受けなかったものとして取り扱います 。 (1) ETS から「Institutional Score Report」が届かなかった場合 (2) 「Test Taker Score Report」のコピーと「Institutional Score Report」が一致していない場合 (3) 指定された期日（上記２参照）より前に受検した TOEFL の成績を提出した場合 (4) その他不正な方法で提出した場合

備考

- 日本以外の国籍を有する者で、次の条件を満たす者は、英語スコア提出が免除される場合があるので、2023年６月末までに事務担当にメールで相談すること。
  外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を英語による教育を受けて修了した者及び修了見込みの者。ただし、教育課程は各々の教育機関がその国において正規の学校教育に位置づけられていることを要する。
- 上記いずれの方法でもスコアシートを提出できない特段の理由がある場合、2023年６月末までに事務担当にメールで相談すること。

【事務担当】東京大学医学部学務チーム（大学院担当）
in.m@gs.mail.u-tokyo.ac.jp